



建築人

3

2018



大阪ホンマもん

写真 田籠哲也 文 牧野隆義

近代的なビルなどが立ち並ぶ大阪市福島区の国道二号線沿いにあるレトロビルを取り上げたい。

建物は関東の東京川崎財閥に属する銀行の出張所として昭和九年（一九三四年）に建てられた。設計は明治末期から昭和初期にかけて活動した矢部又吉氏が担った。

矢部氏は横浜市で生まれ、工手学校（現工学院大学）建築科を卒業後、ドイツのシャルロッテンブルク工科大学（現ベルリン工科大学）で学び、ドイツ人建築家ゼール氏に師事した。その後、日本へ戻り建築設計事務所を開設し、東京川崎財閥系などの建物を多く手がけた。

建物は正面に四本のイオニア式ジャイアントオーダーを配し、敷地に対し緩やかなカーブを描いたファザードが特徴だ。

登録有形文化財に指定されたレトロビルはカットソーテキスタイルの会社であるミナミ株式会社を利用しており、今もって優雅な風景を提供し続けている。

建築人

3
2018

目次

2	大阪ホンマもん
3	女性分科会三〇周年リレーエッセイ 建築士会そして女性分科会に入会して 三宅登美恵
4	インフォメーション・事業案内
6	動静レポート
7	Topics
8	匠の巧 建築金物の匠たち 株式会社ユニオン
10	Gallery 建築作品紹介 パピオスあかし・プラウドタワー明石 設計 東畑建築事務所・大林組設計共同企業体 施工 大林組 Alegria Residence Utsubo Park 設計 檜永一男建築研究所 施工 貫山建設 a twigs house 設計 マニエラ建築設計事務所 施工 建築工房小林
13	記憶の建築 松隈 洋 慶應義塾幼稚舎 一九三七年 先駆的な小学校建築の輝き
14	建築の射程 室崎千重 高齢過疎化が進む中山間地域で学生が関わる村づくり
16	女性分科会三〇周年の終わりに 田代加奈
18	理事会報告 建築相談室から 編集後記

社会貢献委員会の活動紹介

社会貢献委員会 地域支援担当
委員長 山地康夫



社会貢献委員会地域支援には、地域分科会被災支援分科会まちづくり分科会ヘリテージ部会という四つの分科会があります。

地域分科会では大阪府内を十二地域に分けて、各地域の建築士を中心に特徴ある見学会や勉強会を企画して、建築士の仲間作りや社会貢献の場を設けて活動しています。今年度も二十数件のイベントを実施しています。他に府内の小中学生への社会教育を目的とする「大阪府住まいまちづくり教育普及協議会」へも協力参加しています。

被災支援分科会では、災害発生時に早い支援体制を整える為、種々の訓練を実施しており、分科会内に津波浸水対策研究会と罹災証明研究会を設け、災害から市民を守り、復興へのより細やかな協力が出来るよう日々活動しています。

まちづくり分科会では、今年度創立二十周年記念シンポジウムを開催し、今後のまちづくり活動の大いなる期待を感じさせました。他に府内で活動している団体への地域貢献助成事業も実施しています。

ヘリテージ部会では、文化庁の補助（支援）の下に、大阪府ヘリテージマネージャー育成講座を行い、過去五年間で誕生した二〇〇名以上のヘリテージマネージャーによる大阪府ヘリテージマネージャー協議会を組織運営して大阪府内の貴重な建築遺産をより多く保存し有効活用を提案出来るようなスキルを目指し活動しています。更に建築士資格を持たない市民にも企画運営に協力頂けるよう、門戸を広げて活動をしています。

社会貢献委員会では当会建築士はもとより、広く市民に対して、社会貢献活動に興味を持ち企画・運営にご協力頂ける、皆様を募集中です。

今後とも、支援ご協力を宜しくお願い致します。

女性分科会三〇周年リレーエッセイ

建築士会そして女性分科会に入会して

委員 三宅登美恵

父の小さい工務店、ずっと同じ顔ぶれの狭い環境で建築に携わっていた私は、一級合格を機に、知識を得る為にもどこの団体に所属しなければ、という漠然とした思いを持つていました。そんな折、登録説明会で女性分科会の先輩方の熱烈な勧誘を受け、勝手に遠い存在と思っていた建築士会を身近に感じ、早速コア（合同活動報告会）に参加して、女性分科会の勉強会、シルバール研究会・住空間らばに申し込み、士会に入会となりました。

学生時代から組織や団体の活動したことがなかったため、先輩方の白熱する会議、その進行の手際の良さに驚いていました。今でもバイタリティー溢れる行動力には感心しきりです。そのエネルギーに引つ張られ、はや一年が経ちます。勉強会に参加する夜は親に預けていた子供もすっかり大人になり、逆に両親が弱ってきています。狭かった私の世界も少しずつ近畿・全国の行事へと広がると同時に、多分、建築士会に入会していなければ経験しなかったであろう、企画や本の製作・講師として話すこと……いろいろ経験させて頂きました。

子供の世話・仕事・親の手伝い・家事・夫への遠慮……人によって環境や周囲の理解が違うので、「女性だから」ではないかもしれませんが、士会の活動が続けるには大変な部分もあります。でも、頼もしい仲間と共に何かを成す、その経験は達成感・喜びを生み力となり、人としての厚みとなっていると信じています。

女性分科会の敷居は低いですよ。世界を広げる第一歩にどうぞ！仲間が待っています。

Others

その他のお知らせ

大阪市立美術館

特別展「江戸の戯画―鳥羽絵から北斎・国芳・
晩斎まで」
4/17～6/10

大阪市立美術館では、特別展「江戸の戯画―
鳥羽絵から北斎・国芳・晩斎まで」を開催します。
鳥羽絵は、18世紀の大坂で鳥羽絵本として出版
され、その人気は近代にまで及びました。鳥羽絵
を洗練させたとされる大坂の「耳鳥斎（にちょうさ
い）」はもちろん、鳥羽絵本の影響を受けたと考え
られる江戸の「北斎」や「国芳」、そしてその流れ
をくむ「晩斎」など、時代や地域により変化しなが
らも、笑いの感覚は脈々と受け継がれてきました。
本展では、そのような流れを追いつつ江戸時代
の戯画のエッセンスをご覧ください。
会期 4月17日（火）～6月10日（日）
前期：4/17～5/13、後期：5/15～6/10
休館日 月曜日（4/30・5/1は開館）
時間 9:30～17:00（入館は16:30まで）
出品予定作品 約280件
会場・問合 大阪市立美術館
大阪市天王寺区茶臼山町1-82
Tel.06-4301-7285
（大阪市総合コールセンター）
<http://www.osaka-art-museum.jp>



『軽筆鳥羽車』千葉市美術館（通期展示 ※頁替え）

東洋陶磁美術館

特別展「フランス宮廷の磁器 セーヴル、創造
の300年」
4/7～7/16

フランス宮廷に育まれ、時代とともに変化し続け
てきたセーヴル磁器製作所の300年に及ぶ活
動の紹介と、セーヴル陶磁都市が所蔵する約
130件の作品の展示により、セーヴル陶器の
魅力を紹介します。
会期 4月7日（土）～7月16日（月・祝）
時間 9:30～17:00（入館は16:30まで）
休館日 月曜日（4/30・7/16は開館）
観覧料 1,200円 展示点数 約130点
会場・問合 大阪市立東洋陶磁美術館
大阪市北区中之島1-1-26
Tel.06-6223-0055
<http://www.moco.or.jp>



ボブリ壺「エペール」
（セーヴル陶磁都市所蔵）
photo© RMN-GP

平成29年度省エネ等良質な住宅・ 建築物の取得・改修に関する支援 制度等説明会 3/8（大阪会場）

国土交通省では、平成30年度当初予算案・平
成30年度税制改正に盛り込まれた新規制度、
省エネに関する制度など、良質な住宅の取得・
改修に関する支援制度等の概要について、以
下のとおり説明会を開催します。
日時 3月8日（木） 10:00～12:00
会場 グランキューブ大阪
（大阪府立国際会議場）
定員 1000名
講師 国土交通省担当官
参加費 無料 要事前申込
詳細・申込みは以下のHPをご覧ください。
http://www.mlit.go.jp/report/press/house04_hh_000769.html

大阪市大規模マンションの建設に よる保育需要増加に対応するための 保育施設等の整備に係る事前 協議に関する条例を平成30年4月1 日から施行します

大阪市では、大規模マンションの建設による保
育需要の増加に対応した保育施設等の整備
を図るため、大規模マンションの建設計画が固
まる前の段階で、大阪市と建設事業者との間
における保育施設等の整備に関する協議を義
務付けることを定め、平成30年4月1日から施行
します。

2025国際博覧会（EXPO）を大阪・ 関西へ 誘致委員会会員募集

日本の高度経済成長をシンボライズする一大
イベントとなった、1970年の大阪万博（EXPO'70）。その伝統を継承し、大阪・関西、さらには日本
の発展の新たな起爆剤となる、2025年の国
際博覧会（EXPO）の誘致活動が本格化してい
ます。
世界の人々が集い、ともに考え、行動する国際
博覧会（万博）は、我が国の魅力やポテンシャル
を世界に発信する絶好の機会となります。
2025国際博覧会誘致活動にご賛同いただけ
る方を「会員」として募集中です。
会員登録 <http://www.expo2025-osaka-japan.jp/>
問合 2025日本万国博覧会誘致委員会事務局
（大阪府政策企画部万博誘致推進室内）
Tel.06-6944-6573

・カネフクめんたいパーク
・岡村酒造場・兵庫県景観形成重要建造物
に指定
日時 4月21日（土） 9:00～19:00
集合 安田生命大阪梅田ビル前 9:00
定員 25名（申込先着順）
参加費 会員5,500円 会員外6,000円
（バス代、資料代を含む、昼食代別）

お詫びと訂正

2月号目次頁「兵神装備プロダクトスクエア」
の表記に不備がありましたことを深くお詫
び申し上げます。

正しくは下記の通りです。

（正）
兵神装備プロダクトスクエア
設計 徳岡設計
施工 岐建

（誤） 兵神装備
設計 徳岡設計
施工

本会の催し参加問合・申込先

大阪府建築士会事務局
〒540-0012 大阪市中央区谷町3-1-17
高田屋大手前ビル5階
地下鉄「谷町4丁目駅」1-B出口すぐ
TEL.06-6947-1961 FAX.06-6943-7103
メール info@aba-osakafu.or.jp
HP <http://www.aba-osakafu.or.jp/>

Administration

行政からのお知らせ

小規模非住宅建築物 省エネルギー性能に係る実態調査 11/17～3/16

国土交通省は、平成29年11月17日から翌年3
月16日までの期間で、今後の建築物に係る省
エネルギー施策の検討を進めるため、300㎡未
満の非住宅建築物（新築）を対象に、省エネ
ギー性能に係る実態調査を実施します。指定
確認検査機関の確認申請窓口において、本
調査に係るアンケート調査票が配布された際
には、調査にご協力ください。
詳細は、以下のHPをご覧ください。
日本建築士会連合会HP
<http://www.kenchikushikai.or.jp/data/news/2017-11-13.pdf>

時間厳守
定員 40名（申込先着順）
参加費 本会会員（ヘリテージマネージャー育
成講座修了者・受講者含む）7,500円
会員外8,500円
※バス代、保険代、入館料、昼食代を含む（事
前振込）

押出成形セメント板工場見学会 4/9 CPD2単位（予定）

ノザワ播州工場は、押出成形セメント板アスロ
ックNeoを製造、外壁、間仕切りルーバー等に採
用されています。
工場内のラインを見学した後、押出成形セメン
ト板の説明を伺います。
日時 4月9日（月） 15:00～17:00
受付開始 14:45
集合場所 ノザワ播州工場正面玄関
兵庫県加古郡播磨町古宮
最寄駅 山陽電鉄西二見駅
参加費 会員1,000円 会員外1,500円
懇親会 3,500円程度（希望者のみ）
定員 20名（申込先着順）

新入会歓迎企画

受注力UP! BIM設計による木造戸
建て住宅～BIMフル活用で3Dプレ
ゼン・見積までを3日で可能に～
4/12 CPD2単位（予定）

今までの2次元CADによる図面作成作業で
は、30坪程度の個人住宅でも2週間以上は必
要です。さらにパースまで作れば3週間は掛か
りますが、共通仕様として作成したBIMデータを使
うと、わずか2～3日で、3D画像、平面、立面、断
面図に見積まで作成が可能です。事例を交え、
BIMの活用から成約までの流れと、そのノウハ
ウについて栗林賢次氏と左近充翼氏にお話し
頂きます。
日時 4月12日（木） 18:00～20:00
受付開始 17:30
会場 大阪府建築士会会議室
参加費 会員1,000円 会員外1,500円
平成29年度本会入会者・当日入会
者無料
懇親会 1,000円（軽食付）
定員 60名（申込み先着順）

第3回建築課外授業

神戸・丹波・三田の酒工場めぐり
4/21 CDP4単位（予定）

篠山市の鳳鳴酒造の主屋・酒蔵とキリンビール
神戸工場その他の見学を行います。伝統的な
製法による酒蔵と最新のビール工場を比べて
見学します。
見学先（予定）
・鳳鳴酒造：主屋は国の有形文化財であり城
下町篠山の景観を今日に伝えています。
・キリンビール神戸工場：場内ビアレストランで
昼食

INFORMATIONの詳細につきましては本会ホームページに掲載されています。

本会ホームページのWEB申込システムから簡単に申込みができます。【詳細は大阪府建築士会ホームページ】<http://www.aba-osakafu.or.jp/>まで

Sponsorship

建築士会からのお知らせ

既存建築物耐震診断等の評価・評定

本会では、「建築物の耐震改修の促進に関する法律」の改正に伴い、建築構造の学識者や実務者で構成する「建築物耐震評価委員会」を組織し、平成26年1月より建築物耐震評価業務を実施しております。

不特定多数が利用する施設や沿道建築物など、申込者が検討した建築物の耐震診断及び耐震補強計画について、専門的観点のもとに審査・審議を行い、妥当であると認める申込案件に対して評価書を交付します。

スピーディな審査を心掛けておりますのでどうぞ活用ください。

(業務内容)

耐震診断報告書の審査、評価

耐震補強計画案の審査、評価 等

(対象建築物)

公共・民間等の建築種別、用途、規模、構造種別は問いません。また、他府県の建築物も対象としております。

(会員特典)

申込者又は診断等実施者が本会会員の場合は、評価手数料の10%割引があります。

詳細は、本会ホームページをご覧ください。

平成29年度監理技術者講習

(監理技術者以外の方も受講可能)

3/7 CPD6単位

本講習会は建設業法に基づく法定講習であり、建築に特化したテキストを使用し、経験豊富なベテラン技術者の講師による解説と映像で、実務に役立つ情報を提供します。監理技術者以外の建築士や技術者の方も受講が可能です。

日時 3月7日(水) 8:55～17:00

会場 大阪府建築士会会議室

定員 30名(定員に達し次第締切)

受講料 WEB申込み 9,500円

郵送申込み 10,000円

申込 日本建築士会連合会ホームページよりお申込みください。

<http://www.kenchikushikai.or.jp/torikumi/news/2015-07-28-2.html>

ヘリテージマネージャー・ステップアップ講座 第2回「近代大阪の建築家 木子七郎」 3/10 CPD3単位(予定)

本講座は、ヘリテージマネージャー育成講座のステップアッププログラムです。今回は、大阪を拠点として活躍した建築家・木子七郎(きごしろう)の功績に着目して、現存する文化財建築について知識を深めたいと思います。木子七郎自邸を調査された山形政昭氏に解説いただき

ます。

日時 3月10日(土) 13:00～16:00

場所 大阪府建築士会会議室

木子七郎自邸(中央区十二軒町)

内容 座学と見学会

講師 山形政昭(大阪芸術大学教授)

募集 40名(申込先着順)

受講料 会員、ヘリテージマネージャー育成講座修了者・受講者1,000円、会員外2,000円(当日徴収します。)

建築士法にもとづく建築技術講習会 あそび創造広場「TSURUMIこども ホスピス(TCH)」見学 3/16 CPD3単位

あそび創造広場TSURUMIこどもホスピスは、病院や福祉施設ではなく、民間団体等からの寄付金により運営されている、日本初のコミュニティ型こどもホスピスで、本年度の大阪まちなみ賞奨励賞を受賞しました。

見学会では、ホスピスを構想し代表理事を務める高場秀樹様と、設計を担当した出口亮様による解説の後、建物を見学させていただきます。

日時 3月16日(金) 13:30～16:30

会場 あそび創造広場

TSURUMIこどもホスピス

定員 30名(定員に達し次第締切)

受講料 会員4,000円

後援団体会員5,000円

上記会員外6,000円

大阪市東地域会総会のご案内

3/16

地域分科会建築士の会「大阪市東」では3月に総会をおこなうことになりました。東地域の建築士相互の連帯を深めたいと思います。

日時 3月16日(金) 18:30～19:15

場所 大阪府建築士会会議室

議事

- ・事業報告、会計報告
- ・被災支援ネットワーク固め
- ・事業計画
- ・役員承認

※懇親会も予定しております。ご参加の場合は別途会費が必要になります。

参加費 無料

平成29年度文化遺産総合活用推進事業 「文化財の活用を通じて保存を学ぶ」 3/17

歴史的建造物を会場に設定し、その保存と活用についてお話を伺い、実践的な経験を積むことで、文化財の活用を通じた保存活動ができる力を養います。

今回は、まちの歴史的建造物を紹介する“まち歩きツアー”を企画するワークショップです。受講生でディスカッションしながらツアーを作り上げます。

日程 3月17日(土) 中之島図書館

時間 13:00～16:00

場所 上記登録文化財・重要文化財

※開催場所・集合時間は、「参加証」によりご案内します。

定員 30名(申込先着順)

※申込みはヘリテージマネージャー受講生優先。

参加費 会員2,000円 会員外2,500円

建築士の会 南河内 富田林市寺内町の住宅等見学会 ～横関正人+万貴子氏の作品を巡る～ 3/17 CPD2単位(予定)

横関正人+万貴子氏は、江戸時代以降の町家やまち並みが残る府内唯一の重要伝統的建造物保存地区「富田林市寺内町」において、厳しい制約の下で町家の再生など歴史的町並みと調和した豊かな住まいを実現するクリエイティブな作品を数多く手掛けられ、これらはプロタイプとして当地区のまちづくりに影響を与え、マスターアーキテクトのような存在になっています。横関氏の案内で一連の作品を巡り、地域と建築士のあり方について考察します。

日時 3月17日(土) 13:30～16:00

雨天決行

集合 13:30 きらめきファクトリー

(近鉄「富田林駅」前)観光交流施設)

講師 横関正人/NEOGEO

(鴛鴦庵(えんおうあん))

見学会先 竣工予定住宅、じないまち・木くま館、レイドバック、ギャラリー蔵・天下一、路地のある寺内町の家 ほか(予定)

定員 30名(申込先着順)

申込締切 3月9日(金)

参加費 会員1,000円 会員外1,500円

(当日徴収します。)

※懇親会参加の場合は別途会費が必要です。

大阪地域貢献活動部会 平成30年度助成対象活動募集

建築士と地域住民等が連携して進めるまちづくりなどの地域貢献活動に対して、本会が活動費の助成などを行います。

募集期間 平成30年3月20日(火)まで

対象とする活動

原則として建築士と地域住民等で構成する団体が、地域住民等と連携して進める地域貢献活動で、営利を目的としない活動。

助成額 1件の助成額は30万円を限度

※詳細は本会ホームページをご覧ください。

「津波避難タワー」見学講習会と「日 鐵住金建材(株)大阪製造所」工場見学 3/20 CPD3単位(予定)

東日本大震災から7年が経ちます。その記憶を今後の避難対策に活かす活動している、日鐵住金建材株式会社に「津波避難タワー」見学会と工場見学会を、夜景見学で有名な高石市高砂で行います。講義では被災体験談や避難タワーの設計手法、建築鉄鋼商品の説明など、今後の被災対策への理解を深めたいと思います。

日時 3月20日(火) 13:30～17:00

集合場所 南海本線「羽衣駅」改札口

集合時間 13:00(駅からタクシー)

募集 30名(申込先着順)

参加費 会員1,000円 会員外1,500円

内容 13:30～15:10 工場見学、建材紹介
15:20～17:00 津波避難タワー見学等

女性分科会30周年記念事業 アーカイブ見学会 三輪山本本社・今井町見学会 3/20 CPD5単位

時を経て今なお美しさを保ち、伝統技術の革新と発信・受信の時代に対応し続ける三輪山本本社を設計者の竹中工務店日野様に解説いただき見学します。

また、伝統的建造物群保存地区である「今井町」を散策し、国重要文化財の今西家住宅と、恒岡醤油醸造本店も特別見学します。

日時 3月20日(火) 10:00～16:00

(受付9:30)

場所 (株)三輪山本本社(奈良県桜井市箸中880)→大神神社→今井町(奈良県橿原市今井町)にて今西家・恒岡醤油醸造本店

講師 日野宏二(株)竹中工務店設計部)

定員 30名(申込先着順)

申込締切 3月9日(金)

参加費 会員2,000円 会員外2,500円

※別途、移動交通費640円・昼食代1,290円が必要

シニアサロン 第63回例会 北浜界隈のレトロビルディングの散策 3/29 CPD2単位(予定)

今回は、大阪証券取引所で集合し、北浜の町を歩くことを通じてみてくる、地域の隠れた魅力が発揮する醍醐味について、さまざまな視点から見学をしたいと思います。

日時 3月29日(木) 14:00集合(時間厳守)

集合場所 大阪市中央区北浜1-8-16

大阪証券取引所ビル1階ロビー

定員 30名(申込先着順)

但し、定員に達し次第締切

参加費 会員1,000円 会員外1,500円

懇親会 北浜付近にて開催

参加費4,000円程度
(場所は参加証にて連絡致します)

「三重バスツアー」～桑名・六華苑 と東海道関宿をめぐる旅～ 4/7 CPD4単位(予定)

ジョサイア・コンドル設計の洋館・六華苑(重要文化財)と、古代三関のひとつ「鈴鹿の関」が置かれていた、関宿を見学します。六華苑(旧諸戸清六郎)では、洋館と共に和館や庭園を見学します。また関宿では、ボランティアガイドと一緒にまち歩きをした後、亀山市嶋村明彦氏にご講演いただきます。

日時 4月7日(土) 7:45～19:00

集合 西梅田大和ハウス工業前集合

会長動静

- 1/27 大阪芸大建築学科 50 周年式典
- 1/30 大阪府収用委員会
- 2/ 2 大阪府収用委員会
堺市長訪問
大阪府不動産鑑定士協会年賀交換会
- 2/ 9 大阪工業大学建築学科学生表彰
- 2/10 近畿建築士会協議会青年、女性部会
- 2/15 大阪府収用委員会
- 2/16 運営委員会
- 2/19 大阪府収用委員会
- 2/20 香港政庁貿易發展局新年パーティ
- 2/21 理事会・正副会長会議



(右)竹山堺市長

運営委員会

2月2日の竹山堺市長で、府内すべての市町村を訪問

本会の岡本会長、役員、地元委員による大阪府及び市町村首長への訪問は、今年で5年目を迎え、本年度は、昨年6月29日の後藤吹田市長訪問を最初に、2月2日の竹山堺市長訪問で、43市町村すべての市町村訪問を完了しました。訪問時の面談では、本会が行っている社会貢献活動では、消費者に対する建築相談活動、大地震時の応急危険度判定等の建築防災活動、耐震診断、耐震評価等の建築耐震活動。景観整備、歴史的建築物の保存・活用、活動費助成、マンションの維持管理、インスペクション、空家対策等のまちづくり活動。行政等が設置する審議会や委員会への会員建築士の派遣等々、いづれも行政の政策とつながりが深く、これらの活動を本会の地元会員を中心に市町村と連携・協力して取り組むことを提案しました。特に本年度は、本会委員会が作成し、大阪府監修・学芸出版社発行の「建築物の

省エネ設計技術」や、(公社)日本建築士会連合会作成の「既存建築物状況調査テキスト」を持参し、建築界に求められている省エネやインスペクションの普及等様々な課題に対する本会の取り組みを説明しました。訪問先からは、本会活動に高い評価と期待を頂いており、公益団体として引き続き活発に社会貢献活動に取り組んでいくことを伝えました。

表彰委員会

平成29年度建築関連学校優秀卒業生の表彰

本会が平成25年度から、建築業界の将来を担う優秀な学生を表彰し、卒業後の励みとして一層の精進を期待することを目的として行っている建築関連学校の優秀卒業生表彰は、本年度は15名の卒業生を表彰することとしています。表彰は、原則として本会役員が卒業式等に出席して対象者に直接表彰状を授与します。なお、本年度の表彰者在籍校は、大阪大、大阪市大、大阪芸大、大阪工大、関西大、近畿大、摂南大、大阪工技専、中央工学校、修成建設専、日本理工情報専の11校15学科です。

表彰委員会

第27回「あすなろ夢建築」大阪府公共建築設計コンクールの受賞者決定

本会・大阪府・大阪府住宅供給公社が主催して平成3年から毎年実施している「あすなろ夢建築」は、建築を学ぶ専修学校、高等学校等の学生を対象とする設計コンクールで、最優秀のグランプリ作品は実際に建設されます。今年度は、「多世代が集い逢う場」のテーマで大阪府営堺宮園住宅集会所の提案を募集し、31校から340作品の応募があり、2月6日に審査委員会を行いました。その結果、グランプリに修成建設専門学校 原田宗太郎さんの「緑と共に人が集う集会所」が選ばれました。その他、優秀作品賞3点、佳作3点、奨励賞3点を選定しました。3月28日13時～17時に大阪市中央区の大阪府公館において、表彰式と受賞者によるプレゼンテーションを行います。



グランプリ「緑と共に人が集う集会所」

表彰委員会

第62回大阪建築コンクールの応募及び審査状況

今年で62回を迎える大阪建築コンクールは、1月31日で応募受付を締め切り、大阪府知事賞部門34件、渡辺節賞部門16件の申し込みがありました。2月13日に松隈洋審査委員長他4名で構成する審査委員会において書類審査を行い、現地審査を実施する作品を大阪府知事賞部門7件、渡辺節賞部門3件に絞り込みました。2月23日に現地審査(1日目)を実施、今後、3月19日の現地審査(2日目)、3月20日の最終審査を経て、入賞作品の決定を行います。



書類審査の様子

建築物耐震評価委員会

全国耐震ネットワーク委員会の開催

本会「建築物耐震評価委員会」が所属する全国耐震ネットワーク委員会が2月20日に東京霞ヶ関ビルで開催されました。会議には全国から約200名の関係者が出席し、登録団体数が198から195団体に減少したことが報告され、国土交通省から住宅改修補助制度の見直し等について、文部科学省から公立学校の耐震化が99%完了し、学校の吊り天井の耐震改修も97%完了した等の情報提供がありました。その後、昨年メキシコ地震の被害調査報告、耐震改修優秀建築物の表彰と田中礼治東北工大名誉教授への貢献者表彰が行われ閉会しました。

大阪府住宅省エネルギー設計者講習会、簡易評価法を受講して

日程：平成 30 年 1 月 23 日（火） 会場：大阪府建築健保会館 参加者：90 名

2015 年 7 月に建築物省エネ法が制定され 2017 年 4 月から省エネ適合制度が導入されました。国土交通省は 2020 年までにすべての建築物に対して新省エネ基準適合を義務付けることを決定されています。

講習会では、まず初めに我が国は温暖化問題や大地震を契機としたエネルギー問題に直面しており、住宅の設計・施工技術者も省エネルギー化のための適切な技術習得が求められている。技術者を習得して低炭素社会の実現と居住者の安定で快適な住生活を実現することが大切であり、国は新築住宅の省エネ適合義務化を目指している。

義務化に向けた課題として、中小工務店、大工への十分な配慮、住宅をはじめとする建築物における規制の必要性和根拠の説明、住宅省エネルギー施工技術者講習会・設計者講習会の実施による省エネ基準に則った技術習得者の育成、住宅性能

評価のための計算方法の普及、設計通りの省エネ性能を発揮させるための施工技術の普及など多くの課題があります。

家庭内のヒートショックで亡くなる方は推定 14,000 人で、交通事故死よりも多いとの説明があり、私も今年 66 才になり、今年の寒さは特にきびしく部屋と部屋の温度差が気になります。

部屋間の温度差は断熱性能が高い住宅は暖房していない部屋の温度も高くする効果もあるとのことで、省エネ以外の効果も見逃せません。

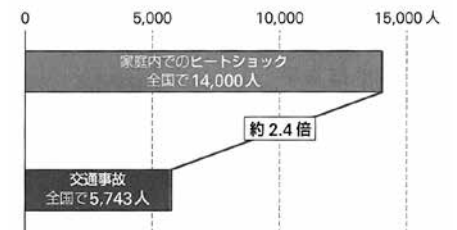
窓などの開口部の熱損失量は、外壁の 2.5 倍にもなり、やさしいエコ住宅とするには、まず窓の断熱改修リフォームを優先的に考えることが効果的なようです。

お昼前と午後からは省エネ基準の評価方法①仕様ルート②簡易計算ルート③詳細計算ルートの説明があり計算実例を交えわかりやすい説明があり、最後に終了考査テストを受け講習修了となりました。



松村和吉（理事）

日進月歩の中で住宅省エネルギー技術講習会を受講できたことは有意義であり、業務にも役立てたいと思っています。



1年間の死亡者数比較(出所:東京ガス都市生活研究所)



適切に断熱された住宅(外気温6.5℃)

建築技術講習会『建築紛争における法的措置とその対応策』

日程：平成 30 年 1 月 31 日（水） 会場：大阪府建築士会会議室 参加者：62 名

私が育ってきた環境では契約を結ぶことは当然で、それによって業務に対する対価を確保してきました。それでも今とは随分様子が違って、最初に設計委託書の受領。次は基本設計確定時に仮契約。そして、実施設計、建築確認後に工事費が決まり、やっと設計監理契約締結に至りました。報酬は工事費に対する料率でした。ある時、設計作業に入る前に報酬額を明記した重要事項説明をするようにとの事。また、工事費に依らない設計監理料の決め方が告示で通達。アットという間に訴訟社会に対応した業務の進め方に変化しました。今回は私自身がこの様な勉強から暫く離れていた事あって、学び直しのため参加しました。講習会は「近隣住民との建築紛争とその

対応策」、「建築紛争現状と動向（設計者と建築主の紛争事例からみた対応策）」がテーマでした。

このうち、前半は隣に計画された高層マンションによって日照権を奪われそうになる住民がマンションを許可した行政を相手に訴訟を起こす事例のお話で、訴訟を起こせる資格や仕組みについて、詳しく解説頂きました。なるほどと思える事が多くあり、専門用語の意味も多少理解が進みました。

後半では、最近の民事調停での動向などのお話を判事から頂きました。「不法行為責任」について H19.7.6 最高裁判例を通して「設計者は、施工者、監理者には建物としての基本的安全性が欠ける事が無いようにすべき義務がある」とされ、

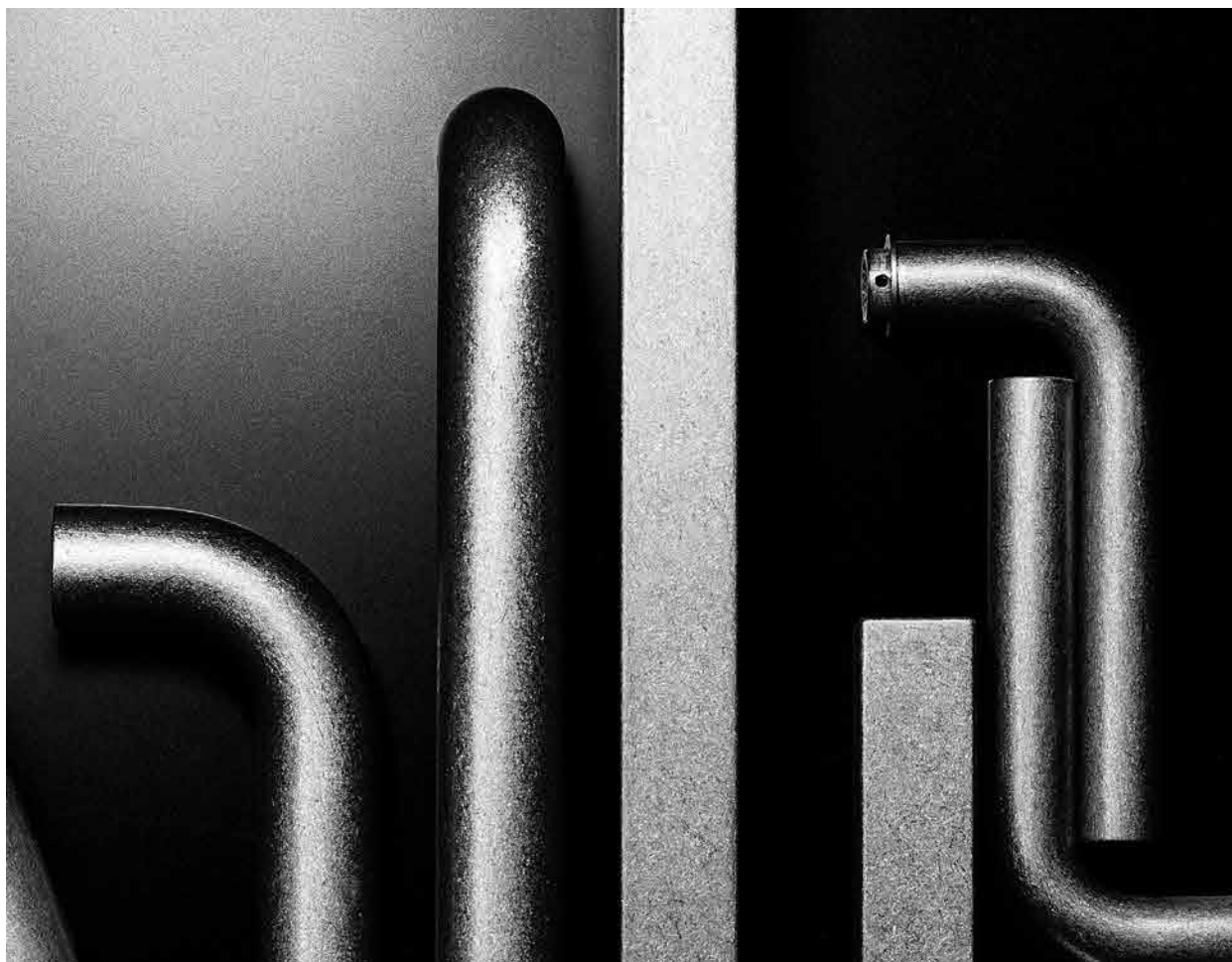


尾鍋裕実（理事）

これを怠ると「不法行為責任」を問われ、契約当事者でない場合も賠償責任を求められるとのことがありました。更に H23.7.21 最高裁判決では具体的に「構造耐力に関わらない瑕疵でも、外壁の落下、漏水など人身被害、財産の毀損につながる危険があるものは基本的安全性が欠ける」とされ、H19 以前よりも不法行為責任に対する認識が随分と明確になり、訴訟しやすくなったと言えるでしょう。その分、設計監理者は慎重にならざるを得ず、設計や監理における業務の法的意味や善管注意義務等について理解を深めていく必要性を感じました。最後に調停の事例を多く経験された判事の言葉として「依頼者との意思疎通」が重要とのことでした。

匠の巧

株式会社ユニオン



ストーンブラストステンレス：石礫のブラストで生まれるラフでダイナミックな印象でありながら、角がなく丸みを帯びて手になじむテクスチャーとフォルム

建築金物の匠たち

文 河合哲夫・丸子勇人

ARTWARE

建築金物とは、建築のあらゆる部位における構造部材や設備を除く金属製の部品のことである。それは、人の目に触れることなく建築の機能を支えるものから、空間の意匠上の主役になるものまで極めて多様である。紀元前五〇〇〇年のエジプトにおいて既に、銅製の家具用金物の使用が見られるとのこと、その歴史は、建築そのものの歴史と重なることになる。

建築金物を巧くおさめることができるかどうかは、建築における基本的品質から仕上がりの美しさまでを大きく左右する。建築設計者にとって建築金物の知識は、ディテールデザインの要であり、自らが目指す空間の実現のため経験を積み探求を続ける。時にはそのニーズに合う建築金物に巡り合うために大きなエネルギーを注ぐこともある。

今回、取材に訪れた株式会社ユニオンは、一九五八年に立野一郎氏が創業されて以来、ドアハンドルを中心に質の高い建築金物を提供し続ける企業である。

一日の生活の中で、人の手はドアハンドルの操作を数え切れないほど繰り返す。ドアハンドルは、建築の部位の中で最も手に触れる部位と言えるだろう。

ユニオンが提供する建築金物を、同社は「ARTWARE」と表現する。

人が触れる建築金物は、それが組み込まれた空間を永く体験し続ける中で、その機能的な品質だけでなく、あるいはそれ以上に、それが動作する時の感覚や、肌伝わる感触、視覚的美しさとして体験する人に働きかけ続け



「ロイヤルパークホテル ザ 京都」のアプローチ空間

る。従ってそれは、その空間体験の良し悪しを大きく左右することになる。ユニオンは、建築金物が人の感覚に与える、そのような質にこだわり抜こうとする。そして、そうすることが生み出す自らの「作品」達を「ARTWARE」と表現するのである。

オーダーメイドへの対応力

ユニオンは、「Vプロセス鋳造法」による鋳造技術を早くから取り入れている。これは鋳型の材料になる砂を減圧により成形する技術で、大型かつ精度の高い鋳物製品への対応力を持つことができる。

「ロイヤルパークホテル ザ 京都」のアプローチ空間は、ユニオンが作り出したアルマイト処理仕上げのアルミキャスト格子により天井と壁面が仕上げられている。鋳物におけるアルマイト



一つ一つが手作業で縫い込まれている握りがレザーのレバーハンドル

処理は、同じアルミでも押出し型材に施工する場合と違い、不均質な仕上がりとなる。ここでは、鋳物の表面をブラスト処理により均すことにより、その不均質さに対して一定のコントロールを加え、わずかな色むらが醸し出す独特な仕上がりを生み出している。その表面は、暗めに抑制されたライティングを鈍く反射させ、重みのあるテクスチャによる軽快な格子のリズムが、古びた歴史と新しい感性が共存する京都に相応しい歓待空間を形作っている。「この仕上がりを生み出すため、ブラスト処理については、何度も試行錯誤を繰り返しました」と営業開発課近藤潤一課長は語る。

このように、ユニオンの製品へのこだわりの真骨頂は、素材と、その仕上げ技術へのこだわりにある。金属はもちろん、鋳物、木材等の素材の持つ特徴を活かしながら、それぞれに応じた成形、表面処理、着色等の技術を駆使しトリアルアンドエラーを繰り返しながら、その空間に相応しい素材感を設計者とともに追求し続けるのである。

革を纏うドアハンドルがある。握りの部分が革でできているため、手になじむ操作感ほ、高級車のハンドルを握るような感覚を想像させる。それらの革は、一つ一つが手作業で縫い込まれているという。美しい工芸品を作り出すクラフトマンシップによる、手の動きにまでこだわった美意識がそこにはある。

これらは全て個々のプロジェクトのそれぞれの空間における設計者や発注者の要求に応え、あるいはそれを超えてきたオーダーメイドによる製品達である。こうしたオーダーメイドに注ぐユニオン担当者達のエネルギーは、無数に存在する建築関連の企業の中でも突出しているのではないだろうか。それらは、ユニオンという企業に根付いた風土であり、ユニオンが成長し続ける原動力となっているのだ。そしてそうした彼らの精神が、何よりも私たち設計者を惹き付ける。

■レディメイドにも受け継がれるオーダー対応の精神

レディメイドの分野においてもユニオンは、多くの製品を提供している。主力分野のドアハンドルのラインナップは二〇〇〇点にも及び、意匠用ドアハンドルにおける同社のシェアが八〇パーセントを超えることは、彼らがオンリーワンの企業に成り得ていることを表している。消火器ボックス等のインテリア備品、車止め等の外構用アイテムなど、いずれもユニオンらしいそれ自身が美しいもののばかりで、「ARTWARE」のコンセプトに相応しい。

ユニオンのもう一つの主力製品であるクロゼットドアは、代表取締役社長立野純三氏が日本で初めてスチール折戸として開発。一九七三年に生産を開始した。以来、改良を繰り返して、現在もお進化した続けている。クロゼットドアから発展した点検扉向けのスチールドア「エネボックスドア」は、上下のレールのみによって支持される枠の無いミラ

ルなフォルムが特徴で、周囲の壁に存在感を消しておさめられるだけでなく、施工性も良い優れものである。現在、その上下のレールとハンドルの姿まで消し去った開発中の新モデルの紹介を受けた。「設計者やユーザーが、何で困っているかとか、もつと何が欲しいかを、出来るだけ聞かせて欲しいのです」。大阪住宅課田中久夫課長が語る言葉に、ユニオンの社員が保ち続ける姿勢を感じる。それは、オーダーメイドにおいて設計者が描き出すイメージに肉薄し、その実現のために、自らの全ての経験と知識を動員し、新たな表現の可能性に挑戦しようとする時のそれとやら変わらない。そしてそれを作り出す匠達のクラフトマンシップもまた、オーダーメイドとレディメイドとに区別などではなく、ユニオンの哲学を支え続けているのだ。

■ものづくりの先にあるもの

取材の最後に、大阪ショールーム「アトリエユニオン」の案内を受けた。美しくディスプレイされたユニオンのショールームは、単に製品の商談だけを目的にしたものではない。セミナーや勉強会、アートイベント等に開放され、発注者と建築家やデザイナー、技術者の集うサロンとして、情報交換と交流を通じて、互いの感性が刺激し合い、新しいアイデアやイメージを生み出すオープンインベーション空間を目指しているという。建築文化全体の発展に寄与したいという、経営者の思いがこのショールームにはある。

案内を受ける取材スタッフは、ユニオンの数々のアイテムにおける見事な仕上がりとその多様さ、深さ、こだわりに出会い、自然に歓びの声を上げていた。

「ものづくりは、ものを作ったらかん。その先にある笑顔をつくるんやで」
経営の神様松下幸之助が残した言葉を思い出した。



アトリエユニオン大阪の様子



エネボックスドア

UNION

建築文化を創造する

株式会社 **ユニオン**

株式会社 ユニオン

本社 大阪ショールーム「アトリエユニオン大阪」
〒550-0015 大阪市西区南堀江2-13-22
TEL: 06-6532-3188
FAX: 06-6532-3188

東京支店 東京ショールーム「アトリエユニオン東京」
〒135-0021 東京都江東区白河2-9-5
TEL: 03-3630-2811
FAX: 03-3630-2816



明石駅前南地区第一種市街地再開発事業施設建築物は、商業・業務・公益・行政サービス施設のパピオスあかしと分譲集合住宅のプラウドタワー明石の複合建築物である。周辺街区とペデストリアンデッキで連続する約1000㎡の広さの屋内公共広場や子育て支援施設などの市民サービス機能を充実し、横丁空間の再現・魚の棚商店街との接続など賑わいを創出した。分譲集合住宅は34階建てのタワー形状とし明石海峡大橋や明石城跡への豊かな眺望があり、新たなランドマークを形成している。豊かな自然環境と都市機能が充実した住みよい街として、賑わいが増すことを望む。（東畑建築事務所・大林組設計共同企業体 大林組：藤岡慶子）

所在地：兵庫県明石市
用途：商業・業務施設、公益施設、集合住宅
竣工：2017.03
構造規模：S造、RC造、SRC造
地下2階・地上34階・塔屋2階
敷地面積：8,097.42㎡
建築面積：7,040㎡
延床面積：65,849㎡
写真：ナトリ光房



敷地は、四ツ橋筋を挟んで靫公園の東園を見渡せる絶好の位置にある。東園にはケヤキ並木とバラ園が整備され、季節の移ろいを楽しめるよう管理されて、都心のオアシスとなっている。

また、公園周辺は90年代後半からブティックやカフェ、レストラン、ベーカリーなどが軒を連ねている。

平面は、靫公園が美しく見える方法を模索し、公園側からはどのようにすれば現況の街並みにフィットさせることができるかを考え続けた。バルコニーが見当たらないのでマンションに見えないのですが、れっきとしたワンルームです。この建物が場所に根付いて建築に成るように。

建築主：デジタルアト
所在地：大阪市西区
用途：店舗付き共同住宅
竣工：2018.01
構造規模：鉄筋コンクリート造
地上10階建
敷地面積：91.77㎡
建築面積：69.02㎡
延床面積：673.47㎡
写真：松村芳治



道路から約8m後退したところに、18.2m×6.5mの切妻屋根を南北にかけた。天井には森林の中に生い茂る樹木の小枝が、室内へとつながるよう抽象的に捉え、極細の梁を現して、148本接合したシンプルなたラス垂木を形成。森の中にいるような柔らかでしなやかな小屋組屋根をつくり出し、住まい全体を優しく包み込んでくれる。包まれた内部の東面は全面開口とし、2つの跳ね出しデッキを設けることで、包まれながらも外部とつながった開放的な場とした。両端には水平力負担や暖房効率を考え、箱状の個室と水廻りを配置。外壁は木板グレー塗装貼りとするこ
とで、街並みにゆとりを与え、周辺の自然環境に優しく溶け込んでいく。

所在地：兵庫県芦屋市
用途：専用住宅
竣工：2017.11
構造設計：うきょう建築
構造事務所
構造規模：木造平屋建
敷地面積：978.25㎡
建築面積：148.14㎡
延床面積：133.32㎡
写真：下村写真事務所

東京が珍しく大雪に見舞われた二〇一八年一月下旬、若き日の谷口吉郎（一九〇四～七九年）が設計を手がけた渋谷区恵比寿にある慶應義塾幼稚舎を再訪する機会があった。一九九九年に、日本を代表するモダニズム建築、DOCOMOMO 二〇選で、戦前期の先駆的な小学校建築として選定する前後に、委員の一人として視察して以来なので、おそらく二〇年ぶりになるだろうか。

最寄り駅の地下鉄日比谷線広尾駅から南に歩いて約五分、天現寺橋の先に、歩いてきた外苑西通りと直交して流れる古川と首都高速とに大きく三角形に囲まれ、うつそうとした緑に包まれた校舎が見えてくる。大谷石が精緻に積まれた正門を入り、白く輝く玄関から校舎の中へ入ると、一気に視界は開け、南側に広々とした校庭が姿を現わす。周囲では高層マンションが急増する中で、都心にこれほど恵まれた環境の小学校があることがにわかに信じられない。

資料としていただいたスクールガイドによれば、福澤諭吉が幼稚舎を三田の慶応義塾構内に設立したのは一八七四年、その老朽化に伴い、広尾ヶ原と呼ばれた福澤の別邸があった現在の広尾に移転したのが一九三七年だという。以来、八一年、戦争にも耐え、長くこの地で多くの児童たちを育ててきたことになる。校庭には、そうして積み重ねられてきた歴史の象徴のように、ケヤキの大木が児童たちを見守っている。

校舎は、校庭を緩やかに取り囲むようにやや鈍角に開いたL型に配置され、すべての教室が南向きと東向きになっている。秀逸なのは、教室の前面にテラスをめぐらせて、足元まで開いた窓から直接出入りができるように工夫されていることだ。さらに、三階は大きくセット・バックさせて大

きな屋上庭園となり、外部階段を設けることで、児童たちは校庭を囲む半外部の水平なテラスを自由に行き来できる。そして、そうした日常的な移動が、そのまま、同じ学び舎で過ごすことの喜びをごく自然な形で共有させている。また、校舎の東端部には体育館が置かれ、全体を引き締めている。隅々まで機能的で合理的な追求が施された校舎は、今見ても新鮮であり、竣工当時、さぞかしモダンで輝いていたことだろう。それにしても、どのようにして設計が依

時、私は東京工大の助教授になったばかりで、二十八歳の青二才だった。横さんの来意は、「幼稚舎」の新校舎が渋谷の天現寺にたつので、その設計をしてほしい、と、そんなご依頼であった。これには驚いた。幼稚舎は天下の名門校である。それにくらべ私は建築家の卵にすぎない。恐縮しながら、ご希望をたずねると、「塾の建築に魂を入れてほしい」とのお返事に、私は一層恐縮してしまった。」

避難ができ、それが災害時の避難路となる。暖房はスイスのサナトリウムなどに試みられているパネル・ヒーティングを「床暖房」に実施した。体操場、理科教室、工作室などに新しい考案を実現するために、幼稚舎の先生がたとにも私はいろいろと構想をねった。」

この文章からは、先生方との共同によって設計が進められたことがわかる。さらに、実際の設計は、慶應義塾の校舎群を長く手がけてきた曾根・中條建築事務所が全面的にバック・アップし、若き谷口が理想的な小学校を実現する万全の体制が整えられていたのである。そして、同じ文章には、「新校舎が落成した日、私は喜びに満ちた児童の笑顔と喚声に囲まれた」と記されている。

日中戦争が始まる暗い時代の中で、高い目標を掲げた慶應義塾の志と、「塾の建築に魂を入れてほしい」との希望を受けた谷口の尽力、それを支えた設計チームの思いが、今も現役の校舎に息づいているに違いない。竣工後も、谷口は自尊館と呼ばれる講堂（一九六四年）や百周年記念棟（一九七五年）などを手がけ、彼の没後は、幼稚舎の竣工時に生まれた子息の谷口吉生（一九三七年）の設計によつて、新体育館（一九八七年）や新館21（二〇〇二年）が新築されている。幼稚舎の先生方は、今一度、この建物の歴史的な価値を共有したいとの希望を持っておられた。逆に勝手な夢をお伝えしたのだが、いつか児童たちにこそ、伝える機会を、と思わずにはいられなかった。

松隈 洋

京都工芸繊維大学教授。博士（工学）。一九五七年兵庫県生まれ。一九八〇年京都大学卒業後、前川國男建築設計事務所に入所。二〇〇八年十月より現職。

記憶の建築

松隈 洋

慶應義塾幼稚舎 1937 年
先駆的な小学校建築の輝き



南側校庭から見る校舎全景。右端に体育館。



明るい体育館の内部。鉄骨架構が美しい。

頼されたのだろうか。よほど印象的な出来事だったのだろう。晩年に出版された自伝的な著書（谷口吉郎『建築に生きる』日本経済新聞社一九七四年）の中で、当時を振り返って、谷口が次のように記している。

「私は慶應義塾の出身ではない。しかし、塾との関係は永く続いていて、四十数年に及ぶ。（中略）昭和七年頃だったと思う。塾の財務理事は横智雄さんで、その横さんが、私の研究室へ来訪されたのである。当

こうして、設計が始まる。続く文章には、次のように設計の意図が綴られていく。

「その信頼にこたえるため、若輩の私は幼稚舎の設計に全力投球した。児童の健康と安全を第一に考え、明るくて気持ちのいい小学校を実現したいと意匠心を絞った。新校舎は雛段のような三階のテラス・タイプにした。各階が階段のようにセット・バックし、全教室の窓が開放式であるので、日当たりがいい。各階のテラスからは地上へ

各地の中山間地域では高齢過疎化が進み、居住継続が困難になってきています。そのような中で、奈良県十津川村では奈良女子大学の学生が継続的に村づくりに関わっています。十津川村の現状と活動について室崎千重さんに紹介していただきました。

高齢過疎化が進む中山間地域で学生が関わる村づくり

室崎 千重

奈良女子大学大学院生活環境科学系 講師

京都市生まれ。神戸大学大学院を修了後、株式会社現代計画研究所、兵庫県立福祉のまちづくり研究所を経て2012年8月より現職。

1. 奈良県十津川村

奈良女子大学の室崎研究室では、二〇一四年五月から奈良県十津川村の村づくりに住民さんと一緒に取り組んでいる。十津川村は、奈良県最南端に位置する日本一広い面積の村である。東京二三区よりも広い面積の村の人口は、二〇一七年三月時点で一八二九世帯・三四七二人、高齢化率は四三・四％であり、高齢過疎化が着実に進んでいる。二〇一一年九月の紀伊半島大水害により大きな被害を受け、村は将来を見据えた創造的復興に取り組んできた。今後さらに深刻化する生活サービス機能・交通の維持への危惧や高齢者が村内に居住継続できない実態等の課題への対策として、村は村内に芯となる安心拠点集落をつくり、村民がそこに徐々に移住等により集まって村内で暮らし続ける構想を描いている。よって、復興公営住宅は被災集落やその近隣に新たな造成をして建設するのではなく、村内の災害履歴が少ない既存集落に建設されている。この安心拠点集落に選ばれた既存集落は二箇所で、北部の谷瀬集落と南部の高森（猿飼）集落である。十津川村の伝統的民家を継承した木造の復興公営住宅は既存集落内に埋め込むように建てられており、以前からあったかのように風景に馴染んでいる（写真1）。二つの集落は村の将来を見据えた取り組みのモデル地域にも位置づけられている。村の観光資源である谷瀬の吊り橋（長さ二九七m、日本最長の生活用鉄線の吊り橋）を持つ谷瀬集落は観光・生きがいづくりのモデル地域、村内唯一の特別養護老人ホームのある高森集落は、誰もが最期まで暮らせる福祉のモデル地域であり、それぞれの取り組みが展開している。前置

きが長くなったが、研究室で定期的に通っているのが前者の谷瀬集落（写真2）である。谷瀬集落に通って三年半が経過し、学生の存在は地域に受け入れていただいた。二カ月に一回程度の村づくりの寄合への参加、学生が担当できる地域整備の実践、学生提案による企画の実践など、小さい活動ではあるが積み重ねてきた実践を二つと関わりを通じて感じた効果をご紹介します。

2. 学生の関わる村づくりの実践

一つ目は谷瀬集落の住民によって二〇一四年四月にオープンした「ゆつくり散歩道」沿いの看板整備である。谷瀬の吊り橋には多数の観光客が訪れるが、災害前までは観光客が集落内に入ることに住民は否定的であった。災害が今後の村の行く末を考える契機となり、村を知ってもらうことで交流人口といずれは移住者の増加を目指す実践に繋がった。住民がこのアイデアを実行するまでに二年間ほどの時間を要しており、その間コーディネートを務めたNPOスローライフ・ジャパンの野口智子さんの手腕があつてこその実現であった。ゆつくり散歩道のゴールは吊り橋を山から一望できる展望台で、集落の中を片道四〇分程度歩くと到着する。この道中の案内看板を二〇一四年六月頃から学生が担当して製作、設置を続けている。というのも、学生が手書きしてラミネート加工したものを板に貼る簡易な看板なので、半年〜一年で劣化する。住民がすると何度も同じ繰り返しで面倒になるところだが、毎年、入れ替わる学生が新たに書いて貼り換えると、すべての学生が自分と集落の関わりを実感できるという利点になる。看板には絵



写真5 こやすばの整備



写真4 散歩道の木製新看板



写真3 手書きの散歩道看板

のうまい下手は問わずイラストをひとつ添えていて、観光客や住民さんに味のある絵を楽しんでもらっている（写真3）。二〇一六年には従来の手作り感あふれる看板に加えて、デザイン性のある新たな看板も考案した。十津川産の杉板にレー



写真2 谷瀬集落の様子



写真1 谷瀬集落内の復興公営住宅

ザー加工機で看板の文字を掘り込んで赤い屋根を取り付けたもので、すべて木製である（写真4）。現在は、道案内の重要箇所はこの赤屋根の木製看板を設置し、それ以外の見どころポイントの看板には従来の手書き看板を設置して沿道を楽しく演出している。

二つ目は、集落内の空民家の活用に向けた整備・活用のお手伝いである。二棟の空民家の整備に関わっている。ゆつくり散歩道沿いにある築一〇〇年以上の十津川民家を、観光客の見学場所兼休憩場所として開放するため、雑草の生い茂る庭の整備と室内の荷物整理・埃の拭き掃除を住民と学生が力をあわせて行った（写真5）。現在は「こやすば」（小休場：山仕事の際に、ちよつと休憩する場所の意味）と命名され、休日等に活用されている。「こやすば」を訪れた観光客に谷瀬集落の暮らしの魅力を伝えることを目指して、学生が「谷瀬の暮らし写真展」を企画し、とりためた写真をパネル化して展示している（写真6）。写真展の効果は、集落で販売する手づくりの特産品の加工工程を見て購入に繋がったり、別の季節の集落の様子を見てまた訪問しようと思ってもらえたりと上々である。今期から新たに「谷瀬の昔の暮らし写真展」を企画中で、住民さんに昔のアルバムを持ち寄ってもらい、写真のスキヤンをはじめている。もうひとつは、学生が谷瀬で活動する時に集落のご厚意で安く宿泊させていただいている空民家である。この民家は、いずれは谷瀬集落の移住体験用住宅として移住希望者に貸す予定であるため、居住環境の向上を目指して集落内の大工の棟梁の指導を受けながら、学生で出来る範囲のDIY改修に取り組ん

だ。破れた網戸の取り替え、トイレ・キッチン・床の張替、キッチン壁面のモザイクタイル貼り、崩れかけた屋外石段の修繕、欄干のペンキ塗り、風呂場の壁面の塗装など、大掛かりな改修ではないものの、傷んだ箇所がずいぶん改善された。学生にとっては、住宅の手入れ方法を学べる場となった（写真7）。

3. 学生の関わりの効果

集落の方にとって、異質な存在だった学生も継続的な集落との関わりを通して、学生の存在が原動力のひとつになっている。ちよつと無謀な？提案も学生と一緒にやるならやってみようかといった雰囲気生まれおり、二〇一五年一月の寄合で谷瀬産のお米で日本酒つくれたらいいね！と雑談で盛り上がったその言葉は、なんとその年に田植え・稲刈りを住民と学生と一緒に実現した。学生の存在はこういった新たな取り組みへの動きを後押ししていると思う。この日本酒づくりは今期で三回目となり、三月頃に純米酒「谷瀬」の新酒が完成予定である（写真8）。学生にとっては、着実に進む村づくりの現場に関わる意義は大きく、地域での人づきあいの作法にはじまり、自分たちの実践が形になる喜び、住民の意識が前向きに変化していく様子を直に感じることでできている、地域づくりの実践を丸ごと学べる貴重な機会となっている。今後も学生が住民と協働して進める村づくりの提案と実践を、少しずつ進めていく予定である。ちなみに、先に紹介した純米酒「谷瀬」は十津川村内での発売なので、ぜひ十津川村谷瀬集落に遊びに来てご購入いただけたら何よりの喜びである。



写真8 酒米の収穫



写真7 空民家のDIY



写真6 こやすばの外観と写真展

女性分科会三〇周年の終わりに

【建築女子の未来】

女性分科会代表 田代加奈

この一年を通じて女性分科会三〇周年記念事業を行いました。建築人リレーエッセイ、女子会プレイベント、建築系女性一〇〇人によるワールドカフェ、国交省住宅局長 伊藤明子氏講演会、アーカイブ見学会と非常に盛り沢山のメニューとなりました。振り返ると一人一人が建築に関わる姿勢を改めて考える良い機会になったと思います。三〇年前とは時代が違い、女性建築士だけの集まりが必要かとも問われました。そんな中での一年間でした。ワールドカフェでいただいた意見をもとに、これからの建築女子の未来にむけて、総括してみたいと思います。

日本社会の現状

伊藤住宅局長の講演は、「女性活躍は世の中のトレンドだが、女性に活躍してもらわなければ日本が潰れる」という現状をご理解いただきたい」というショッキングな言葉から始まりました。「女性活躍とは、男女共同参画型社会が良いという美しい面と正に経済政策そのものという側面があり、そうでなければ日本が潰れてしまうので政府は決して建前ではなく本気で取り組んでいる」という説明でした。誰もが薄々感じていた事ですが、数値的な裏づけに確信を得ました。大げさに言えば女性活躍が日本を救う手段と考えるべきなのです。

建築という仕事

ワールドカフェに参加された方で建築に関わるという事に男女差を感じる方はほと

んどおられませんでした。好きな建築を仕事に出来て幸せ、やりがいや面白さを感じている方が多く、男女の差より個人のやる気という意見が多数でした。それよりも、衣食住の三本柱の一つでありながら社会に建築の仕事の面白さや重要性を十分にアピールできていないのではないか、幼少の頃から住教育を充実させる必要があるとの意見もありました。

女性が働くということ

女性活躍は必須であるにも関わらず、女性が働くという事は男性が働くこととイコールではないのが現実です。幼少からの教育で、男は一家を背負い、女性は家庭を守るという考え方が日本人の根底に今でもあるように思います。現代でも個々の家庭の事情でその役割を分担すれば良いのであって廻りがとやかく言うことでは無いという考えの方もおられると思いますが、それでは日本は潰れるのです。女性も男性も働く事が日本にとって必要なのです。少子高齢社会において、働き手を増やすには次世代の若者が出産、子育て、家事、介護といったライフステージの変化に対応しつつも働く事が当たり前の時代になっていくと思います。

ワールドカフェでは「けんちく女子が活躍する為に必要なものは何？」というテーマでも話し合いました。育休制度はあっても機能していない、十分ではない。仕事と家庭を両立している人はいない。育休をとるとキャリアアップの支障になる。独身の間は差を感じないが結婚すると平等には働けない。組織で勤めている方と個人で仕事をされている方の働き方にも大きく差があります。女性活躍には制度改革、男子教

育、周囲の理解も必須です。男性と同等に頑張りすぎて身体をこわした経験をお持ちの方も多くいらっしやいました。体力にも個人差があります。それは男女に関係はありませんが、どうしても男性と同じように比較されるのも事実です。

女性の特性を生かす

伊藤局長のお話にもありましたが、女性の特性として従来の規範ややり方をわきまえつつも囚われない発想力があると考ええる。そしてこれは長所ともいえる「おせっかい力」、これにはコミュニケーション力や他分野との連携や新しい提案を生む力があると話されていました。ワールドカフェでの意見でも男性と女性とは同じではない。それぞれの特性を生かすことが重要である。女性は生活者としての立場を仕事に生かせる。細かいところに気遣いができる。ライフイベントの経験が仕事に生かせる。持ち前のコミュニケーション力で周囲を和ませ、男性と協力して建築社会を築くことが重要との意見もありました。

建築女子が考える魅力的な社会・都市・建築・まち

情報社会の発展とともに人との繋がりは必要なく感じ、薄らいでいく地縁社会ですが、実は災害時、高齢独居世帯、子育て支援などは、人と人との繋がりが心を豊かにし、共助の社会を実現します。女性のコミュニケーション力、気遣いを都市・建築・まちに生かす事が女性建築士の大きな役割であるとの意見も多数ありました。

また、多様な人を巻き込む力、人を幸せにする、暮らしを良くする気持ちは女性の方が強く、女性が連携して活動することで

大きな力を発信できるとの意見もできました。PTAや地域活動などに参加する機会が多い女性の方が地域の事を良く知っているとはいえます。地域のコミュニティの場作りにハード面、ソフト面でその能力を発揮することが可能です。

建築女子がきざぐ未来

以上をふまえて建築女子未来宣言は①魅力ある建築と都市をきざぐします。②建築女子のネットワークを構築します。③女性支援と意見発信を行います。としました。女性活躍を支援すべく社会制度、廻りの人間の考え方の改善とともに当事者である建築女子も自己研鑽を積み、積極的に発信することがとても重要だと思います。

最後に、この三〇周年の記念の年に建築士会メンバー、共催団体の建築女子の皆様と結成した建築女子会実行委員会のお力添えで代表を勤めさせて戴きました事に感謝の意を込めて三〇周年の締めくくりと致します。



「建築女子がきざぐ未来」ワールドカフェ形式のグルーブトーク

ユーザー対象の設計相談
住宅の設計者問い合わせ に対応する

登録者募集

(公社)大阪府建築士会 社会貢献委員会 分科会 “住宅を設計する仲間達”

登録者の個人ページ・・・専用のホームページ内に作成可
建築士リスト・・・数カ所の機関に配架し、広報活動を展開
設計相談・設計例展示・・・大阪市立住まい情報センター等

専用ホームページ www.jutaku-nakama.com/
登録・問合せは (公社)大阪府建築士会 立間まで
06-6947-1961 tatsuma@aba-osakafu.or.jp

住宅を設計する仲間達 建築士 リスト 2016-17

家づくりの

『住宅』
大阪府
が得意な建
あなたにピッ
お問い合わせく

住宅を設計する仲間達
JUTAKU NAKAMA

トップページ

住宅を設計する仲間達とは

建築士に任せるメリット

具体的な流れ

まんが ～家作りストーリー～

土地の選び方

住宅ローンについて

建築士を探す

建築士に任せるメリットは何?

お知らせ

パネル展示&セミナー@住まい

セミナー 3月5日

「建築家とつくる」

パネル展示

「建築家とつくる」

パネル展示&セミ

ホームページの
抜粋版です

家づくりは、頼

「住宅を設計する仲間達」は、住宅を設

計するプロ（建築士 建築設計事務所）

の集まりです。3,000人が在籍する公益

社団法人大阪府建築士会は、住宅一帯の

設計事務所などの建築士を、平成8年に「住宅

設計士会」として発足させ、建築士と

住民の間に架け橋を架けました。

自然と住まいがやさしく調和することを心がけています。
風や光に季節を感じ、家族の一人ひとりにとって心地よく暮らせる住ま
いを“粋でおしゃれに”デザインさせていただきます。
吟味した杉で体がよるこぶ空気をつくり、子どもから大人まで 脳を元気
に健康で安全で安心して暮らせる家を丁寧につくらせて頂きます。

06-6927-1051
06-6927-1052
e-mail p-office-y@estate.ocn.ne.jp

理事会報告

文責 本会事務局

日時 二月二十一日（水）十六時～十八時
場所 本会会議室

出席 理事三〇名 監事二名

（1）一月の当期経常増減額は、収入一六、〇四四、六九二円、支出一〇、〇一〇、九七六円、差引六、〇三三、七一六円で、本年度累計の収支差引二六、五九三、〇二五円を報告して承認されました。

本年度の収支決算は約四三〇万円の黒字決算になる見込みです。会費収入は予算収入定員を上回る状況で、会員数の減少は二〇〇名を割る見込みです。研修委員会の第三条研修は、予算比七〇％減の収支差額約五〇万円の見込みです。定期講習は予算比約二五％増の約四五〇万円、耐震診断改修講習は受講者減少により予算比約四〇％減の約六〇万円、監理技術者講習は本会会議室利用による経費削減を図りましたが約二五万円赤字の見込みです。大阪市高齢者住宅改修費給付事業の審査件数は予測の半数程度です。建築人のギャラリー及びDMが増加しており、予算比約八〇％増の約八〇万円の増収、既存住宅状況調査技術者講習は予算比約六五％増の約二九〇万円の増収の見込みです。

（2）三〇年度予算素案は、収支とも一四、九四六万円の予算規模となる内容を説明し、今後各委員会検討のうえ、三年度運営委員会の協議を経て、三年度理事会で事業計画とともに決議することとしました。

（3）一月度理事会で次期役員候補者が承認されましたが、寺地洋之氏（大工大教授）の辞退意向を受けて、候補者選考委員会から後任の学識者として藤田忍氏（大市大教授）の推薦があり、承認されました。

建築相談室から二十三

集中する相談

文 橋本頼幸

不思議なことに電話相談は、相談が偏ることがあります。曜日で偏ったり、特定の相談員に集中したり、同じような相談が同じような時期に続いたり。今月は、四日で五件集中した水漏れに関する相談についてご紹介します。

一、賃貸の上階から水漏れ

八階建て賃貸の二階に住んでいて、四階のトイレがつまり、三階・二階へと漏れた。天井を塗装し直し、隣の押入れは一部作り直すことになった。漏れた日に消毒はしてもらったが、塗装消毒は人体に問題はないか？

二、築二十年の収益物件を購入

一階店舗・二～四階が住居の収益物件を購入した。二階より水が漏れて二階店舗の復旧に三百万円かかった。漏水原因は給湯管（銅管）継手の劣化だと判明した。今後の予防策を教えてください。

三、三階建て戸建て住宅浴室からの水漏れ

築十年の三階建て木造住宅の二階のユニットバスから水漏れ。下階に染み出している。急いで業者に対応してもらったが完全に直っていない。築十年での水漏れはよくあることなのか？責任の特定はできるのか？修繕費用は誰が負担するのか？

四、退去後に発覚した水漏れ

借りていた賃貸マンションを退去したが、後日家主から水漏れが見つかったといわれ、修繕費用を請求された。水漏れの原因を調査しても、らうことは可能か？

五、リフォーム後十年経って発覚

十年前にリフォームをした。壁ボードのビスを抜くと水が漏れ出した。給水管にビスが刺

さっていたようだ。補修をリフォーム業者に求めることができるか？

水漏れにまつわる相談はよくあるものの

水漏れはよく起こる事故ですし、本会でも当然その相談はよくあるものの、ある時期に集中するのは非常に珍しいです。水漏れですから季節の影響はないと思います。今回紹介した五件の相談はそれぞれタイプも異なり、それぞれに回答も異なっています。

自己完結か加害者が被害者かで異なる対応

最初の相談は基本的には家主が対応することだと思いますので、不安材料は家主に解決してもらおう他ありません。また、家財への影響は補償対象になるでしょうし、建物の補修方法は家主が決めることに従うことになるでしょう。

二番目と三番目は自己完結型ではありますが、保険に入っているかどうか一つのポイントになると思います。三番目の事例は、業者に對して責任追及は非常に難しいでしょう。自費で修繕するとなるとかなりの負担になる可能性にあります。

四番目の事例は、基本的に賃貸では一般的な使用をしていて発生した自然劣化に対する原状回復義務は家主が負担することになりますので、相談者に起因する問題の有無の判定が求められますが、後から現地調査で断定できるかは難しいでしょう。家主の協力が得られないかもしれません。ただし、家主の方に賃借人の責任であることを証明する必要があると思われます。

五番目の相談は、給水管に限らず、温水式の床暖房などで釘やビスなどが刺さっていて、ビスが錆びるなど相当時間が経過して発覚することが多い事故です。すぐに気づかないのが厄介なところですが、工事をする側も気を付けたいところです。

編集後記

丸子勇人

年末年始の休暇を利用し、ジェフリー・バワの建築に触れるためスリランカまで行ってきました。ところがバワの建築以上に記憶に残ったのは、公共バスでした。日本の譲り合い精神とは対照的に、バスはクラクションを鳴らし合い、急発進、急停車を繰り返しながら、猛スピードで目的地を目指します。車内では大音量でスリランカ・ミュージックが流れ、停留所の表示やアナウンスは無く、降りるのも本当に一苦勞です。一方、乗車の際には、タクシィのように路上で手を挙げるとバスは急停車し、人々は乗ることができます。急いでいるのに、これほどの融通さを持ち合わせているから不思議です。乗車賃は驚くほど安く、二時間以上乗っても一〇〇円程度です。ほぼすべての行程において三時間以上バスで移動したため、帰国後、揺れないバスに乗ると、ハラハラしながら腹筋に力をいれてバランスを取るスリランカでの体験を恋しく感じました。スリランカの人々の日常から文化・風土的背景が異なる野性味と懐深さを強く感じた貴重な体験でした。

建築人 3

2018

監修 公益社団法人大阪府建築士会
建築情報委員会

編集 建築情報委員会『建築人』編集部

委員長 飯田英二

編集人代表 荒木公樹

編集人 河合哲夫

黒川祐樹

橋本頼幸

牧野隆義

事務局 山本茂樹

印刷 中和印刷紙器株式会社

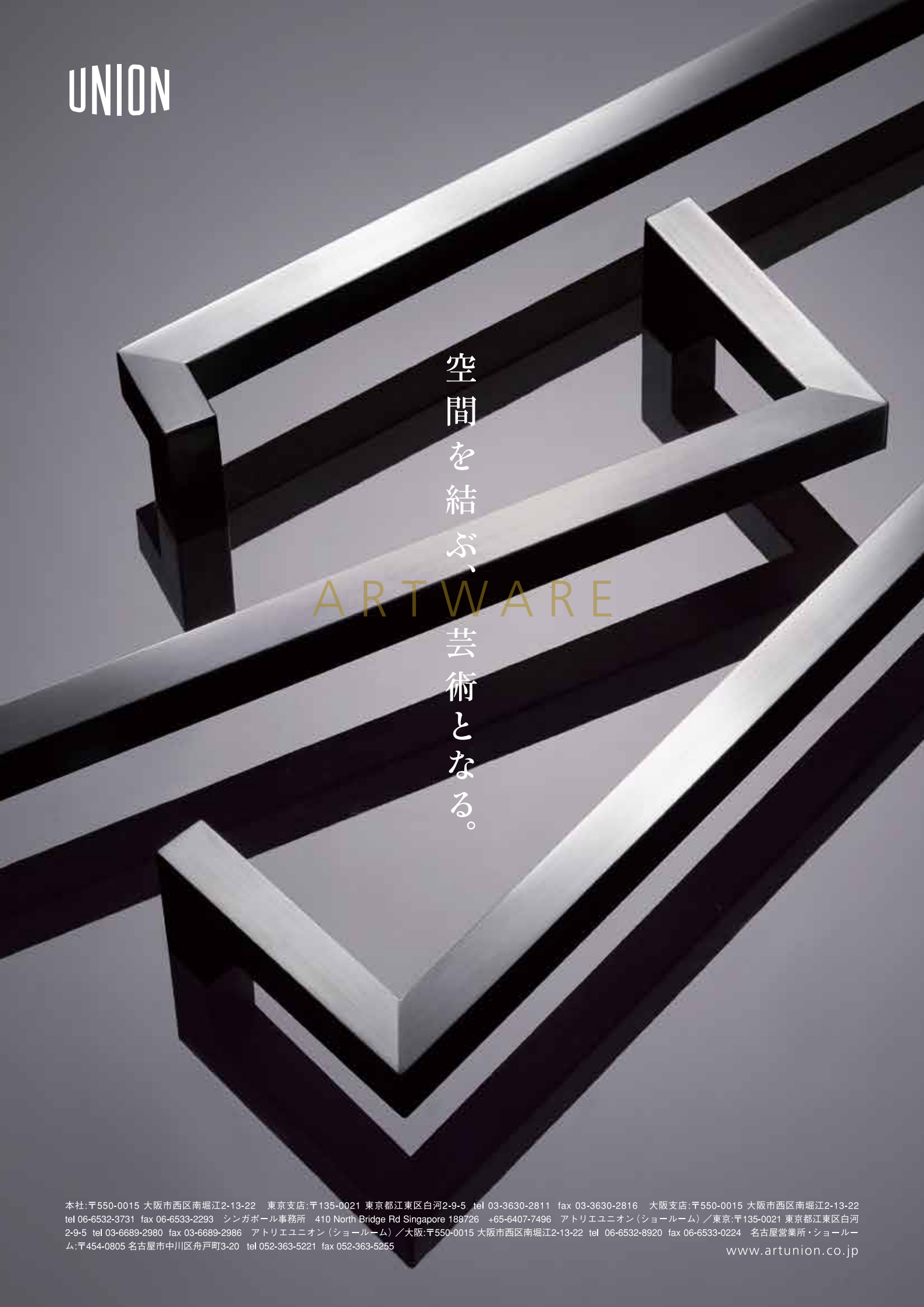
北 聖志

曾我部千鶴美

丸子勇人

茂籠一之

母倉政美



UNION

空間を結ぶ、
芸術となる。

ARTWARE

本社:〒550-0015 大阪市西区南堀江2-13-22 東京支店:〒135-0021 東京都江東区白河2-9-5 tel 03-3630-2811 fax 03-3630-2816 大阪支店:〒550-0015 大阪市西区南堀江2-13-22
tel 06-6532-3731 fax 06-6533-2293 シンガポール事務所 410 North Bridge Rd Singapore 188726 +65-6407-7496 アトリエユニオン(ショールーム) / 東京:〒135-0021 東京都江東区白河
2-9-5 tel 03-6689-2980 fax 03-6689-2986 アトリエユニオン(ショールーム) / 大阪:〒550-0015 大阪市西区南堀江2-13-22 tel 06-6532-8920 fax 06-6533-0224 名古屋営業所・ショールーム:
〒454-0805 名古屋市中川区舟戸町3-20 tel 052-363-5221 fax 052-363-5255

www.artunion.co.jp



HIRAKATA T-SITE 原田哲夫・宮島照久・牛戸陽治

大阪と京都の中間点に位置する枚方市駅前に計画された、本を通してライフスタイルを提案する商業施設である。その街に住む人々が主役となりコミュニティや新しい価値を生み出す「街のリビング」をつくることで、街文化が空洞化しつつある駅前地区を活性化させることを目指した。

枚方市駅前に降り立つと、各階に跳ね出されたテラスが印象的で駅前の新たな風景となっている枚方T-SITEが姿を現す。駅前広場にさし出された居心地のよい「街のリビング」と、本を通したライフスタイル提案が街にダイレクトに伝わる「透明なファサード」、街を眺める「屋上テラス」が融合し、街への共感を生み出すきっかけとなっている。

枚方T-SITEの内部に一步入ると、街のにぎわいを感じながら様々なモノやサービスに出会い、コミュニケーションが切れ目なく誘発される仕掛けがなされている。各階がボーダーレスに繋がる回遊性のある平面計画と、吹抜けを少しずつずらしながら配置される断面計画により、どこにいても各階の空気感を感じ、思い思いの場所でゆっくりと時間を過ごすことができる。

約40年前の高度成長期に建設された駅前再開発ビルを建て替える「再々開発」プロジェクトでもある枚方T-SITEは、人口減少期における駅前再生の可能性を示すものである。

撮影：ナカサアンドパートナーズ 中道 淳 竹中工務店 松岡正明(★)
第37回大阪都市景観建築賞審査員特別受賞作品

■プロフィール

原田哲夫(はらだ てつお 竹中工務店)
1961年大阪府生まれ／1986年京都大学
大学院工学研究科修了後、竹中工務店入社
宮島照久(みやじま てるひさ 竹中工務店)
1969年岐阜県生まれ／1993年名古屋工業大
学大学院工学研究科修了後、竹中工務店入社
牛戸陽治(うしど ようじ 竹中工務店)
1976年京都府生まれ／2002年神戸大学大
学大学院自然科学研究科修了後、竹中工務店入社

■建物データ

設 計：竹中工務店
施 工：竹中工務店・前田組共同企業体
所 在 地：枚方市岡東町 12-2
主 用 途：物販・飲食・金融機関店舗
構 造：S 造、SRC 造
規 模：地下1階、地上9階
敷地面積：2,723.59 m²
建築面積：2,494.07 m²
延床面積：17,553.44 m²

